

第二回 日本移民学会冬季研究大会プログラム

12月9日(土) 14:00-17:35

同志社大学今出川キャンパス良心館4F(地下鉄今出川駅北改札から直接キャンパスに入れます。)

第1セッション(良心館 RY411 教室) 14:00-15:45

司会: 吉田亮(同志社大学)

菅(奥村)紀子(松山大学(嘱))

「アラスカ金鉱をめぐる日伊移民一世の関わりー和田重次郎とフェリックス・ペドロ」

ハナ・シェパード(ハーバード大学(院))

「明治期の海外移住・移動のなかの福岡県民」

ブレンダン・ル・ルー(帝京大学)

「ニッケルと砂糖、金とコーヒーー日本人出稼ぎ移民とフランスの植民地」

第2セッション(良心館 RY412 教室) 14:00-15:45

司会: 森本豊富(早稲田大学)

横山香奈(大阪経済法科大学)

「TEA(複線径路等至性アプローチ)で分析する日系カナダ人のアイデンティティ形成経路ー日本への短期移動と永住の過程を通じて」

小波津ホセ(宇都宮大学(院))

「在日ペルー人家族の親子関係の検証ー親子の役割逆転と不協和型文化変容」

高橋萌(慶應義塾大学(院))

「移民運動はなぜ継続されるのか？」

ー台湾の多文化主義政策下における移民運動の展開を事例として」

第3セッション(良心館 RY419 教室) 14:00-15:45

司会: 飯島真里子(上智大学)

根川幸男(国際日本文化研究センター)

「初期ブラジル行き移民船の世界ー1912年巖島丸航海にみる越境的時空間」

入江敏子(同志社大学(院))

「トランスナショナルな視点から見る、宝塚とアメリカ人女性ファン」

永富真梨(同志社大学(院))

「日本帝国における日系アメリカ人ー灰田勝彦の国際性と帝国のジェンダー」

第4セッション(良心館 RY412 教室) 15:50-17:10

司会: 木下昭(同志社大学(嘱))

駒込希(早稲田大学(院))

「第二次世界大戦初期のロサンゼルスにおけるユダヤ人と日系人に関するー考察」

大森万理子(九州大学(院))

「20世紀初頭米国ロサンゼルスにおける移民救済を通じた『善きアメリカ人』像の形成ーメリノール教会シスターズ・ホームの事業を中心に」

第5セッション（良心館 RY411 教室） 15:50-17:35

司会：山本恵里子（会員）

俣野裕美（摂南大学（嘱））

「アメリカの大スターとして：ナンシー・梅木の自己イメージ構築」

白山彩（上智大学（院））

「ハワイの帰米二世による戦後日系人社会への貢献—インタビューから読み取れること」

Zhu Lin（同志社大学（院））

「From Route to Roots:

Chinese American film-making and the Changing Cultural Identity during Wartime」